

学生のための国際交流イベントの開催

◆ 第14回「Nasicカップ 日本語スピーチコンテスト」2020（中止）

ベトナム・ハノイ市での日本語スピーチコンテストは、学生交流会と同様、新型コロナウイルス感染症拡大のため海外渡航が困難な状況から中止としました。参考までに本事業のこれまでの実施状況を掲載します。

回	年度	会場大学	最優秀学生の所属大学	日本招待数	回	年度	会場大学	最優秀学生の所属大学	日本招待数
1	2007	ハノイ大学	ハノイ国家大学、貿易大学、ハノイ大学	3	8	2014	ハノイ大学	ハノイ大学	6
2	2008	ハノイ大学	ハノイ工科大学、ハノイ大学 2	3	9	2015	タンロン大学	ハノイ大学	6
3	2009	貿易大学	ハノイ国家大学、ハノイ大学 2	3	10	2016	貿易大学	貿易大学	12
4	2010	貿易大学	ハノイ国家大学、貿易大学、タンロン大学	3	11	2017	ハノイ国家大学 外国語大学	ハノイ大学	6
5	2011	ハノイ大学	貿易大学、ハノイ大学 2	3	12	2018	ハノイ大学	貿易大学	6
6	2012	ハノイ国家大学 外国語大学	ハノイ大学、貿易大学、ハノイ国家大学	3	13	2019	ハノイ工科大学	ハノイ大学	6
7	2013	ハノイ大学	貿易大学	6	14	2020	(中止)		

(注) 最優秀学生を学生交流会訪日交流団の一員として日本に招待（第7回からは最優秀学生に加えて優秀学生も招待）

出版・監修・調査など

◆ 配付（生活環境支援のための資料）

「安全・安心なひとり暮らしマニュアル」

ひとり暮らしをする学生のために、ひとり暮らしのマナーから防犯・防災の心構え、注意事項や初めての部屋探しのポイントまでわかりやすく解説したリーフレットを、要望があった全国の学校を通じて配付しました。（協力：(株)学生情報センター）

〈配付部数〉 100部



<理事・監事・評議員・顧問>

理事長 田中壯一郎 (独)国立青少年教育振興機構 顧問	評議員 浮舟 邦彦 滋慶学園グループ 総長 (学)大阪滋慶学園 理事長
常務理事 吉村 泰治 (一財)学生サポートセンター 事務局長	評議員 大塚 和子 元 内閣官房 事務官 (総理大臣官邸 総理大臣秘書官室担当)
理事 入澤 崇 龍谷大学 学長	評議員 梶野 慎一 元 東京大学 事務局長
理事 小川 哲生 (学)明星学苑 副理事長	評議員 木谷 雅人 (一社)国立大学協会 参与
理事 木村 孟 (独)大学改革支援・学位授与機構 顧問	評議員 薦田 博 (学)青山学院 常務理事
理事 近藤 清之 (学)法政大学 常務理事	評議員 寺島 実郎 (一財)日本総合研究所 会長 多摩大学 学長
理事 鈴木 信里 (学)東京女子大学 常務理事	評議員 豊田 三郎 元 名古屋大学 理事・事務局長
理事 高山 忠利 日本大学 専任副学長	顧問 青木 靖明 (学)大原学園 名誉学長
理事 星野 浩明 東急不動産ホールディングス(株) 執行役員 東急不動産(株) 取締役 常務執行役員	顧問 奥島 孝康 早稲田大学 名誉顧問 (元総長)
理事 矢口 悦子 東洋大学 学長	顧問 清成 忠男 事業構想大学院大学 顧問 法政大学 元総長
理事 柳谷 孝 (学)明治大学 理事長	顧問 谷岡 一郎 (学)谷岡学園 理事長 大阪商業大学 学長
理事 吉浦 勝博 (株)学生情報センター 代表取締役社長	顧問 野間 督司 近畿合同法律事務所 弁護士
監事 徳田 孝司 辻・本郷税理士法人 理事長	顧問 八田 英二 (学)同志社 総長・理事長
監事 溝上 絢子 (弁)なにわ共同法律事務所 弁護士	

(五十音順 敬称略 令和3年2月現在)

一般財団法人 学生サポートセンター

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号 青山オーバルビル15階
TEL : 03-5766-8207 FAX : 03-5766-8208 URL : <http://www.gakusei-sc.or.jp/>

一般財団法人 学生サポートセンター

令和2年度事業活動報告

学生ボランティア活動体験レポート募集事業

現状分析
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「三密」の回避や人々との距離の確保などの対策上ボランティア活動が困難な状況にあることから、学生によるボランティア活動を対象とする当財団の「学生ボランティア団体助成事業」を実施することが難しい。

目的
本年度の「学生ボランティア団体助成事業」については、評価の対象を学生団体のボランティア活動自体とするのではなく、これまでの活動体験から感じ、学び、得られたものをレポートにし、それを評価・公表することによってボランティア活動の必要性や意義などを広く学生に発信し、啓発する。また併せて、当該ボランティア団体も支援する。

企画の概要/コンセプト
・学生ボランティア団体のメンバーによる活動体験レポートを募集・公表
・レポートのコンセプトは「多くの学生にボランティア活動を体験してもらいたい」
・キーワードは、「働き」、「共働」、「寄り添い」、「学び」、「かけがえのないもの」

具体的な施策
活動分野を、「福祉」、「環境」、「地域支援」、「国際交流（途上国支援）」、「被災地支援」及び「その他」の6つに区分し、分野ごとに3～5名程度、優れたレポートを募集・公表する。
併せて、当該学生ボランティア団体に活動助成金として1団体当たり10万円を支給する。

得られる効果
・過去の体験を対象とすることから、コロナ禍にあっても実施が可能
・助成金の支給によって学生団体を支援
・学生へのボランティア活動の啓発

目標
学生ボランティア活動の体験レポートを募集・評価・公表し、その意義・必要性を多くの学生にアピールする

2020 (第18回) 学生ビジネスプランコンテスト

目的 創造性や意欲に溢れ、自分で考え、自分で行動できる学生を一人でも多く育てること

課題 任意（社会課題の解決に向けた取り組みを期待）

応募資格 大学、大学院、短大、専門学校の学生

応募方法 所定様式をダウンロードし、応募書類を作成の上、Eメールに添付して送信

選考 学生の創造性を顕著するための助成金の支給に関する選考委員会

発表 令和2年12月中旬（予定）
（採択プランについては、申込者及び学校へ採択決定を通知するとともに、当財団ホームページに公表）

表彰

最優秀賞	30万円	1点以内
優秀賞	各20万円	2点以内
アイデア賞	各10万円	10点以内
努力賞	各5万円	10点以内

募集期間 2020年9月1日(火)～10月15日(木)

<http://www.gakusei-sc.or.jp>

2020 学生ボランティア団体助成事業・学生ビジネスプランコンテスト

(コロナ禍のため表彰式は開催しないこととし、各大学を通じて表彰状の伝達をお願いしました)



駒田三重大学長（左）、大庭上越教育大学副学長（右）から表彰状を受ける各大学の学生ボランティア活動体験レポート優秀学生



リモートで体験レポートの優秀学生を祝う明治大学の学生ボランティア団体の皆さん

一般財団法人 学生サポートセンター

令和2年度活動報告書

一般財団法人 学生サポートセンターについて

一般財団法人 学生サポートセンターは、平成15年3月に文部科学省より設立許可を受けて以来、社会常識やモラル向上など、充実した学生生活の実現に向けた講演会活動と学生のボランティア活動への助成、学生の創造性涵養を目的とするアイデアコンテストの実施、国際交流による人材育成等の事業を実施して参りました。令和2年度の主な活動は以下のとおりです。

学生の創造性を涵養するための助成金の支給

◆ 学生ビジネスプランコンテスト [応募数：61大学等 166プラン]

「学生の創造性を涵養するための助成金の支給に関する選考委員会」(委員長代理：鈴木信里(学)東京女子大学 常務理事)の厳正な審査を経て、下記の25件に助成しました。

- (選考結果) ・最優秀賞 (30万円) : 該当なし
- ・優秀賞 (20万円) : 2件
- ・アイデア賞 (10万円) : 9件
- ・努力賞 (5万円) : 14件 [計25件]

表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ開催しないこととし、各大学を通じて表彰状を伝達していただきました。(右の写真参照)

受賞者		(敬称略)
優秀賞	早稲田大学大学院	寺村 まどか
	関西大学	杉山 涼
アイデア賞	阪南大学	片野坂 空 山川 蓮輝 清瀧 一樹
	岡山大学	久保 駿貴 西田 裕哉 中井 達也
	東京大学大学院	鈴木 智也 紀野 紗良 東 加奈子 池田 悠太郎 松田 美勇史
	東北大学	永田 将真 根本 一希
	大阪経済大学	高寺 彩音 皆吉 大樹 今口 朋美 小澤 美樹 滝川 圭太郎
	東北大学	今富 大介
	東京大学	上田 航大 佐井 以諾 齋藤 道 和田 亮佑
	東京大学大学院	五十嵐 俊治
	東北大学	高橋 佑生
	北九州市立大学	山下 聖斗 篠原 はな
努力賞	早稲田大学	今村 優希
	大手前大学	後上 弘樹
	昭和女子大学	眞下 綾 宮崎 加奈子 川嶋 桃佳 佐野 千菜美 長谷川 理穂 前川 真菜 水谷 優花
	専修大学	樋口 丈也 坂本 菜奈 保住 紗英 吉田 菜々美 水野 千尋
	関西大学	青木 由真 佐々木 綾香 樋口 莉子 水口 愛菜 山本 紗世
	福島大学	加藤 望朔 岡村 留伊 佐々木 泰良 藤原 鷹広 伊藤 未帆 弓座 千春
	宮崎公立大学	原 さくら 渡 卓磨
	阪南大学	嘉手苅 桂司 田出 晴也 長谷川 由樹
	大阪工業大学	古城 智也 嶋岡 玲奈 藤野 雄大 吉岡 泰慎
	奈良先端科学技術大学院大学	原田 宥都 山田 理 小谷 行樹 吉成 祐貴 吉村 大輝
電気通信大学	森下 順 石岡 優花	
奈良先端科学技術大学院大学	立花 巧樹 登川 仁至	
徳島大学	山本 貴志	

【関西大学】



優秀賞(上)、努力賞(下)の皆さんと矢田商学部長

【東北大学】



安藤工学研究科副研究科長(中・下)ほか大学関係者から表彰状を受けるアイデア賞の皆さん

【大阪経済大学】



アイデア賞の皆さんとゼミ担当中村教授

学生ボランティア団体への支援

◆ 学生ボランティア団体助成事業「学生ボランティア活動体験レポート募集事業」

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通常のボランティア活動が困難である状況を踏まえ、学生によるボランティア活動体験レポートを通じて学生ボランティア団体への支援を行うこととしました。応募レポートについて「学生ボランティア活動への支援に関する選考委員会」(委員長：木村 孟(独)大学改革支援・学位授与機構 顧問)の厳正な審査を経て、下表のとおり15大学(国立5、公立0、私立10)15件のレポートを優れた作品として選考し、関係15団体に助成しました。(助成金1団体10万円)

優秀作品 15大学15レポート(うち特に優秀6) 助成学生ボランティア団体15団体 [応募数：27大学 33レポート]

学生ボランティア活動体験レポート優秀作品/助成先団体			(敬称略・応募順)
新潟青陵大学	岩城 桃子	子どもの貧困に対して大学生が関わる意義	学生ボランティアコーディネーター ぼらくと
明星大学	湯野 萌	互いに与え・受け取りあうということ	初等教育研究会 どころこの会
敬愛大学	網中 弓華	「ボランティア活動から学んだこと」	教育ボランティアサークル Iris
第一工業大学	長山 なな子	2年間のボランティア活動を通して	ボランティア部
広島大学	高見 史織	なりたいたい自分を見つける「きっかけ」*	IYAH
明治大学	花塚 千紘	途上国支援を通して学んだこと*	SHIP
上智大学	越村 玲巳	教育支援を通して気付いた真のボランティア*	ASANTE PROJECT
筑波大学	三重野 馨	「ボランティア」とは何か	日本マラウイ学生団体
三重大学	香山 睦実	自分の好きなことで地域を笑顔に*	地域貢献サークル Meiku
上越教育大学	渡辺 春佳	ボランティア活動に取り組む意義とは*	A B J (Action By Juen)
聖心女子大学	品田 真優	「今」だからこそ気づけた思い	M.S.S.S.
慶応義塾大学	酒井 冴南	アマゾン川巡回船同乗を通じて感じる医の原点とボランティア活動の意義*	国際医学研究会
西南学院大学	樋口 歩美	西南FWC九州で得た経験とたくさんの思い出	西南フレンズインターナショナルワークキャンプ九州
東京工業大学	松村 慶	ラーニングジャーニーin南三陸町に参加して	東工大学生ボランティアグループ
城西大学	宝蔵寺 佑樹	城山学園消毒体験	カレッジいわはな

(注)* を付したものは特に優れたレポート

表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ開催しないこととし、各大学を通じて表彰状を伝達していただきました。

【三重大学】



駒田学長(中)ほか大学関係者と懇談する受賞学生

【上越教育大学】



大庭副学長を囲んで受賞学生と助成ボランティア団体の皆さん(前列)、中山副学長(後列中)ほか関係者の皆さん

学生のための国際交流イベントの開催

◆ 第18回「日本・ベトナム学生交流会」2020(中止)

日本・ベトナム学生交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため日本への渡航が困難な状況から、中止としました。参考までに本事業のこれまでの実施状況を掲載します。



回	年度	ベトナム 招待学生数	訪問大学	回	年度	ベトナム 招待学生数	訪問大学
1	2003	(22)	ハノイ外国語大学(現ハノイ大学)	10	2012	62	東京大学、上智大学、京都大学、近畿大学
2	2004	(30)	ハノイ外国語大学(現ハノイ大学)	11	2013	55	東京大学、東京理科大学、(以上台風のため取止め) 京都大学、関西学院大学
3	2005	17	早稲田大学、文化女子大学、東京大学、京都大学	12	2014	34	東京大学、東京理科大学、京都大学、京都産業大学
4	2006	20	早稲田大学、文化女子大学、東京大学、京都大学	13	2015	27	慶応義塾大学、千葉工業大学、京都大学、神戸大学
5	2007	22	東京大学、文化女子大学、京都大学	14	2016	35	早稲田大学、明治大学、京都大学、同志社大学
6	2008	23	東京大学、文化女子大学、京都大学、同志社大学	15	2017	24	東洋大学、法政大学、京都大学、立命館大学
7	2009	43	東京大学、文化女子大学、京都大学、龍谷大学	16	2018	25	立教大学、芝浦工業大学、京都大学、追手門学院大学
8	2010	32	東京大学、明治大学、京都大学、関西大学	17	2019	23	青山学院大学、京都大学、京都橋大学
9	2011	40	東京大学、早稲田大学、京都大学、立命館大学	18	2020	(中止)	

(注1) 第1回、第2回は日本の学生がベトナムを訪問して交流会を実施(学生数はベトナムを訪問した日本の学生数)

(注2) ベトナム交流団には招へい学生のほかに政府関係者の団長、副団長及び引率スタッフが同行